

【別記1】 福島第一・2号機の原子炉圧力容器底部の温度上昇事象に関する通報連絡一覧

	通報連絡日時	通報内容
1	平成24年2月4日 F A X 発信 16時20分 F A X 受信 16時38分	・2月2日頃より2号機の圧力容器下部温度のデータに上昇傾向が確認されています。なお、本日16時現在の温度は67.2℃(参考値)であり、安定しつつある状態です。引き続き傾向を監視していきます。
2	平成24年2月5日 F A X 発信 0時25分 F A X 受信	・第1報にてお知らせした、2号機の圧力容器下部温度の上昇傾向について、当該温度が70℃付近まで上昇していることから、2号機の給水系原子炉注水量を約1m ³ /h上昇する操作を今後実施します。実施後、実績について報告します。
3	平成23年2月5日 F A X 発信 0時59分 F A X 受信 1時06分	・第2報にてお知らせした、2号機原子炉への注水量変更について、本日0時33分から0時52分にかけて、給水系配管からの流量を4.8m ³ /h→5.8m ³ /hに変更しました。なお、炉心スプレイ系配管からの注水量は3.8m ³ /hで変更ありません。今後も、継続してプラントパラメータの経時変化を確認していきます。
4	平成24年2月6日 F A X 発信 16時19分 F A X 受信 16時27分	・2月2日頃より2号機の圧力容器下部温度のデータに上昇傾向が確認されています。なお、本日16時現在の温度は71.7℃(参考値)です。 引き続き傾向を監視していきます。
5	平成24年2月5日 F A X 発信 20時50分 F A X 受信	・2号機の圧力容器下部温度について上昇傾向が続いていることから、今後、給水系からの原子炉注水量を約1m ³ /h上昇する操作を実施します。実施後、実績について報告します。 なお、20時現在の温度は70.1℃(参考値)です。
6	平成24年2月6日 F A X 発信 1時53分 F A X 受信 1時59分	・第5報でお知らせした、2号機原子炉への注水量変更について、本日1時01分から1時29分にかけて、給水系配管からの流量を5.8m ³ /h→6.8m ³ /hに変更しました。なお、炉心スプレイ系配管からの注水量は3.8m ³ /hで変更ありません。今後も、継続してプラントパラメータの経時変化を確認していきます。
7	平成24年2月6日 F A X 発信 16時33分 F A X 受信 16時41分	・2号機の圧力容器下部温度は本日16時現在、71.6℃(参考値)です。引き続き傾向を監視していきます。

8	平成24年2月6日 F A X 発信 21時27分 F A X 受信 21時38分	<ul style="list-style-type: none"> ・第6報でお知らせのとおり、2号機原子炉注水量については本日1時29分に給水系配管からの流量を1m³/h増加(炉心スプレイ系配管からの注水量は変更なし)し、圧力容器下部温度の傾向を監視していましたが、依然高めの値を示していることから、今後準備が整い次第、炉心スプレイ系配管からの原子炉注水量について約3m³/hの増加操作(給水系配管からの注水量は変更なし)を実施します。 念のため再臨界防止対策として原子炉へのホウ酸注入準備を21時30分頃から実施し、ホウ酸注入終了後、原子炉注水量変更操作を実施する予定です。なお、ホウ酸水注入準備からホウ酸注入終了まで約4時間程度を見込んでいます。 操作実績については実施後、報告します。 21時現在の温度は70.4℃(参考値)です。
9	平成24年2月6日 F A X 発信 5時06分 F A X 受信 5時20分	<ul style="list-style-type: none"> ・第8報でお知らせしました、2号機原子炉へのホウ酸水注入作業及び、炉心スプレイ系配管からの原子炉注水量増加操作について、下記のとおり実施しました。 ・ホウ酸水注入作業 <ul style="list-style-type: none"> 2月6日 21時28分：注入準備開始 2月7日 0時19分：注入開始 3時20分：注入終了(ホウ酸水注入量[実績]=1094kg(at 3.7wt%)) ・原子炉注水量増加操作 <ul style="list-style-type: none"> 2月7日 3時52分：操作開始 4時24分：操作終了 (炉心スプレイ系配管からの注水量を3.7m³/h→6.7m³/hに変更、給水系配管からの注水量6.8m³/hは変更なし) なお、2月7日5時現在の圧力容器下部温度は70.4℃(参考値)です。 今後も、継続してプラントパラメータの経時変化を確認していきます。
10	平成24年2月7日 F A X 発信 16時42分 F A X 受信 16時49分	<ul style="list-style-type: none"> ・2号機の圧力容器下部温度は本日16時現在、68.5℃(参考値)です。引き続き傾向を監視していきます。
11	平成24年2月8日 F A X 発信 16時25分 F A X 受信 16時35分	<ul style="list-style-type: none"> ・2号機の圧力容器下部温度は本日16時現在、68.0℃(参考値)です。引き続き傾向を監視していきます。

1 2	平成24年2月8日 F A X 発信 19時29分 F A X 受信 19時50分	<p>・2号機原子炉圧力容器下部温度の上昇に関して、2月7日3時48分に保安規定第136条第1項を適用(保全作業を実施するため計画的に運転上の制限外に移行※1)して、炉心スプレイ系配管からの原子炉注水量の増加操作を実施(第10報)し、継続してプラントパラメータの経時変化を確認してきましたが、その後、当該温度については安定してきたことから、本日18時48分、保安規定第136条第1項の適用を解除しました。</p> <p>なお、本日18時現在の原子炉圧力容器下部温度は64.1℃(参考値)でした。 今後も継続してプラントパラメータの経時変化を確認していきます。</p> <p>※1 保安規定第138条に定める運転上の制限である、「24時間あたりの注水量増加幅1.0m³/h以下」を満足できなくなるため。</p>
1 3	平成24年2月11日 F A X 発信 22時13分 F A X 受信 22時24分	<p>・2号機圧力容器下部温度の傾向を監視していましたが、若干の温度上昇傾向を示したことから、今後準備が整い次第、原子炉への注水量について増加操作を実施します(給水系配管から約1m³/hの増加、炉心スプレイ系配管からの注水量は変更なし)。</p> <p>操作実績については、実施後、報告します。</p> <p>なお、21時現在の温度は73.3℃(参考値)です。</p>
1 4	平成24年2月11日 F A X 発信 23時23分 F A X 受信 23時31分	<p>・第16報でお知らせしました、2号機原子炉注水量増加操作について、下記のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉注水量増加操作 22時28分：操作開始 22時45分：操作終了 <p>(給水系配管からの注水量を6.8m³/h→7.8m³/hに変更、炉心スプレイ系配管からの注水量6.8m³/hは変更なし)</p> <p>なお、23時現在の圧力容器下部温度は74.9℃です。 今後も、継続してプラントパラメータの経時変化を確認していきます。</p>
1 5	平成24年2月12日 F A X 発信 11時37分 F A X 受信 11時52分	<p>・2号機原子炉注水量について給水系配管から1m³/hの増加操作を行いました(第17報)が、現在、圧力容器下部温度は上昇傾向を継続していることから、本日14時頃、炉心スプレイ系配管からの注水量を約6.8m³/hから約10m³/h(目標)に増加する操作を行う予定です。(給水系配管からの注水量は変更なし)。</p> <p>当該操作に伴い、保安規定第138条に定める運転上の制限、「24時間あたりの注水量増加幅1.0m³/h以下」を満足しない状態となりますが、第136条第1項(保全作業を実施するため計画的に運転上の制限外に移行)を適用して作業を行います。</p> <p>また、念のため再臨界防止対策として、当該操作前に原子炉へのホウ酸水の注入を実施します。</p> <p>操作実績については、実施後、報告します。</p> <p>なお、11時現在の圧力容器下部温度は74.9℃(参考値)です。 今後も、継続してプラントパラメータの経時変化を確認していきます。</p>
1 6	平成24年2月12日 F A X 発信 14時40分 F A X 受信 14時50分	<p>・2号機原子炉圧力容器下部温度は上昇傾向を継続していましたが、当該指示値が80℃を超過(82℃)したことを確認したため、本日14時20分、保安規定第138条に定める運転上の制限である「原子炉圧力容器底部温度80℃以下」を満足できないと判断しました。</p> <p>今後の対応として、注水量増加操作を継続実施していきます。</p>

17	平成24年2月12日 F A X 発信 15時47分 F A X 受信 16時04分	<ul style="list-style-type: none"> ・第15報でお知らせしました、2号機原子炉へのホウ酸水注入作業及び、原子炉注水量増加操作について、本日、下記のとおり実施しました。 ・ホウ酸水注入作業 11時38分：注入開始 13時50分：注入終了(ホウ酸水注入量[実績]=1090kg(at3.66wt%)) ・保安規定第136条第1項を適用 13時55分(原子炉注水量増加操作のため計画的に運転上の制限外に移行) ・原子炉注水量増加操作 14時10分：操作開始 15時30分：操作終了 (炉心スプレイ系配管からの注水量を6.9m³/h→9.9m³/hに変更、給水系配管からの注水量7.2m³/h→7.5m³/hに変更) ・保安規定第138条に定める運転上の制限を満足していないと判断(第19報)14時20分 <p>なお、15時現在の圧力容器下部温度は79.2℃(参考値)です。 今後も、継続してプラントパラメータの経時変化を確認していきます。</p>
18	平成24年2月12日 F A X 発信 16時30分 F A X 受信 16時42分	<ul style="list-style-type: none"> ・2号機の圧力容器下部温度は本日16時現在、80.1℃(参考値)です。引き続き傾向を監視していきます。
19	平成24年2月13日 F A X 発信 10時43分 F A X 受信 10時56分	<ul style="list-style-type: none"> ・2号機の原子炉注水量について9時35分～9時50分にかけて、注水量の調整を実施しました。 給水系：7.0m³/h→7.5m³/h (炉心スプレイ系：10.1m³/h→9.9m³/h) 引き続きプラントパラメータの経時変化を確認してまいります。 なお、2号機の圧力容器下部温度は本日10時現在、91.2℃(参考値)です。
20	平成24年2月13日 F A X 発信 13時33分 F A X 受信 13時45分	<ul style="list-style-type: none"> ・2号機原子炉圧力容器下部の温度計指示値(当該の1箇所)は上昇傾向を継続していますが、他の箇所の温度計指示値は、注水量増加に伴い温度が低下傾向にあります。 本日準備が整い次第、当該計器の調査を実施します。 なお、2号機の圧力容器下部温度は本日13時現在、93.3℃(参考値)です。 (他の箇所の温度計指示値は約33℃です。)
21	平成24年2月13日 F A X 発信 16時26分 F A X 受信 16時34分	<ul style="list-style-type: none"> ・2号機の圧力容器下部温度計は現在調査を実施中です。

2 2	平成24年2月13日 F A X 発信 16時53分 F A X 受信 16時58分	・第20報でお知らせしましたとおり、2号機原子炉圧力容器底部温度計については本日14時02分から14時54分まで当該計器の調査を実施していましたが、調査終了後(ケーブル復旧)の温度指示値が342.2℃を示したことから報告をします。
2 3	平成24年2月13日 F A X 発信 23時55分 F A X 受信 0時05分	・第20報でお知らせしたとおり、2号機原子炉圧力容器底部温度計については本日14時02分から14時54分まで当該計器の調査を実施していましたが、調査結果について評価したところ、直流抵抗値が500～535Ωであり、定検時の平均値である約303Ωより高いことから、故障(断線)している可能性があります。今後の対応につきましては、別途、報告します。
2 4	平成24年2月14日 F A X 発信 10時44分 F A X 受信 11時03分	・2号機の圧力容器底部温度は本日10時現在、250.3℃(参考値)です。現在、圧力容器底部温度についてはデータを評価中です。
2 5	平成24年2月14日 F A X 発信 16時19分 F A X 受信 16時56分	・2号機の圧力容器底部温度は本日16時現在、248.1℃(参考値)です。現在、圧力容器底部温度についてはデータを評価中です。
2 6	平成24年2月17日 F A X 発信 14時07分 F A X 受信 14時34分	<p>・2号機原子炉圧力容器底部温度の上昇に関しては、2月12日13時55分に保安規定第136条第1項を適用し、炉心スプレイ系配管からの注水量増加操作を行うこととしましたが(第15報)、その間も当該温度上昇が継続し(80℃を超過したため)、同日14時20分に保安規定第138条に定める原子炉圧力容器底部温度の運転上の制限である「原子炉圧力容器底部温度80℃以下」を満足できないと判断し、運転上の制限を満足させる措置に移行して、注水量の増加を行いました(第17報)。また、その後も温度が不安定で、且つ継続的に温度が上昇傾向を示したことから、2月13日より当該温度計について点検を行った結果、直流抵抗値が定検時の平均値より高くなっていることが確認されたことから当該温度計が断線状態にあると判断しました(第23報)。</p> <p>また、温度計の挙動に関してモックアップ試験による確認ができたこと、及び当該温度計以外の原子炉圧力容器底部温度計に同様の温度上昇が見られなかったことから、当該温度計が故障していたものと判断しました。</p> <p>このため、当該温度計については保安規定第138条の監視計器から除外するとともに原子炉圧力容器底部温度が実際に上昇していたものではないと判断し、保安規定第138条に定める運転の制限からの逸脱判断を本日14時00分に訂正し、併せて保安規定第136条第1項の適用を解除しました。</p>